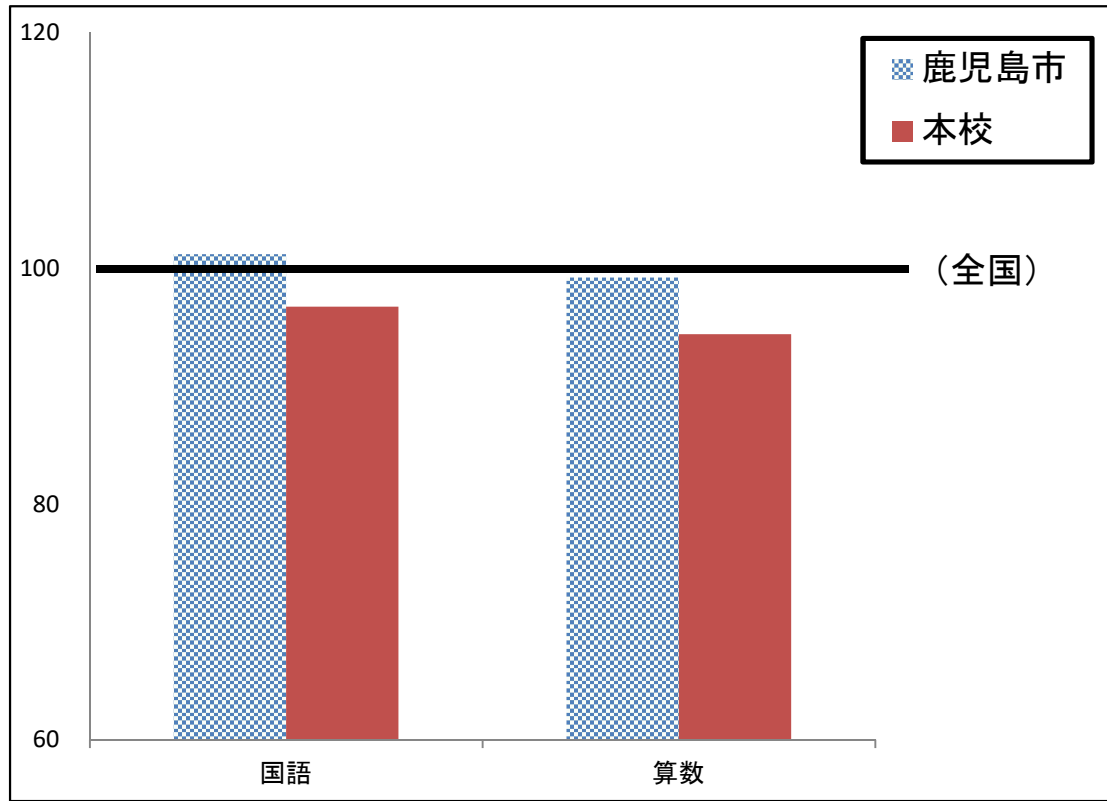


1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように、条件に合わせて書くことに課題が見られました。自分の思いや考えが明確に伝わるように文章構成を工夫したり、図表やグラフなどを使った客観的な資料を用いたりしながら、説得力のある表現を身に付けさせる指導に取り組めます。また、友達と相互に意見交換をしながら、書いた文章を推敲したり、より客観的な資料に改善したりする活動にも取り組んでいきます。さらに、敬語の理解にも課題が見られました。敬語の適切な使用が身に付くように、家庭とも連携しながら、常に相手を意識した言語環境を整えていきます。

〈算数〉

()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることに課題が見られました。文章題から立式した手順をノートに記述させたり、友達の立てた式の意味を読み取らせたりする学習に取り組めます。また、選択式の問題にも課題が見られました。文章題を読むときには「分かっていること」、「分からないこと」に下線を引かせるなど、設問の意味を理解してから解答する習慣を身に付けさせていきます。

〈全体的に〉

児童質問紙の結果から、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することに課題が見られました。国語の改善策でも記述しましたが、資料の活用などの様々な表現の仕方を身に付けさせるとともに、ペアやグループなど少人数で経験を積ませ、いろいろな場面で発表できるようにしていきます。

また、本校の児童は、家庭学習の時間や地域行事への参加が県や全国と比べて低いことが分かりました。家庭とも連携して、学習時間の確保ばかりではなく個に応じた学習内容を工夫したり、地域行事にできるだけ参加するよう呼びかけ、多様な体験活動に取り組ませたりしていきたいと思います。